

※「まちなか交通通信」は市のホームページでも見ることができます。

発行：平成 25 年 1 月 北部市街地自治会交通対策連絡協議会

北部
市街地

まちなか交通通信

この通信は、北部市街地の交通対策の検討について、地域の皆さまにお知らせするものです。

第 4 号

第 4 回「北部市街地自治会交通対策連絡協議会」を開催しました。

12 月 17 日（月）に川越市役所会議室にて、第 4 回「北部市街地自治会交通対策連絡協議会」を開催しました。

今回は、送迎バス、路線バスの状況やまちなかレンタサイクルの社会実験の報告などを受け、今後の取り組みについて意見交換を行いました。

1 送迎バス、路線バスの状況について



■送迎バスの迂回状況の調査を実施しました

各送迎バス事業者に対する迂回依頼後の状況を把握するため、昨年 12 月に調査を行いました。結果は精査中ですが、今回、平日について報告があり、星野学園が 7 台中 2 台を迂回してもらうなど成果が見られます。ただ、全体をみると台数は大きく変わっておらず、また、前回の調査以降で新たな送迎バスも見られるので、今後、状況を整理し、対策を検討する必要があります。

■路線バスについては、東武バス「月吉町経由」の運行開始に伴い、中央通り（一番街）を通る路線が減便されました

昨年 10 月 29 日から、東武バス「川越駅～月吉町経由～神明町車庫線」の運行が開始されました。これに伴い、中央通り（一番街）を通る路線が、平日 26 便、休日 6 便が減便されており、北部市街地の路線バスの迂回が実現しました。

2 小仙波（東）交差点改良事業について

国の工事着手が遅れておりますが、今後、交通安全対策検討会を設置し、地域の自治会長さんや警察等を交えた協議が開始され、着工する予定です。



3 まちなかレンタサイクルについて

中心市街地への自動車流入抑制などを目的として、10月27日から約3ヵ月間「まちなかレンタサイクル」の社会実験が行われています（期間延長も検討中）。一般にコミュニティサイクルと呼ばれる取組みで、自転車の貸出や返却が自由にできる駐輪場をまちなかに8ヶ所設置し、自転車を共同で利用する仕組みです。現在、1台の1日の平均回転数は1.57回であり、他の事例と比べ、利用状況は比較的良好な数字ですが、今後、自動車利用の抑制効果と比較した費用対効果の評価などが必要となります。



4 交通解析について

以前の調査から、北部市街地の交通のうち、約6割が通過交通であることが明らかですが、交通解析により、このうち、県道川越坂戸毛呂山線を通るものが17%程度を占めていることがわかりました。今後、迂回誘導の方策を検討します。

5 交通対策案の状況と今後について

第5回の連絡協議会は年度内に開催し、今後の交通対策について検討します。

現状の課題	考えられる対策と現在の状況
●中心市街地への自動車流入が増加している	○郊外型駐車場【市】 ⇒あぐれっしゅ共同駐車場 ○パーク＆ライド/サイクル【市・民間】 ⇒初雁公園からバス・コミュニティサイクル ○公共交通・自転車利用促進【市・県・国・民間】 ⇒駅のバス情報案内板設置・自転車走行空間整備推進 ○コミュニティサイクル実験・試行【市・民間】 ⇒実施中 ○誘導看板・VICS情報と連動した誘導標識の設置【警察・国・県】 ⇒表示実施（VICS連動が未）
●交差点を中心とした渋滞が発生している。特に、右折車通過待ちの渋滞	○右折帯のない交差点の右折禁止/優先（松江町・教会前等）【警察】 ⇒右折禁止単体ではなく全体的な交通規制として検討 ○信号機の改善【警察】 ⇒実施（現示随時見直し）
●バス乗降に伴う停車や右左折により渋滞が発生	○一番街・東京街道に集中するバス路線の分散【バス事業者】 ⇒月吉町回りの路線実現
●大型車の通行により、振動・騒音が発生	○送迎・観光バスの任意迂回【企業・学校】 ⇒実施（今後も要請継続） ○大型車両の通行規制【警察】 ⇒今後、現状把握と方策検討
●観光客等の乱横断、車道歩行等による危険	○マナー啓発【市】 ⇒観光案内所等に注意書き掲示。今後、一層強化
●細街路への自動車の流入、通学児童への危険	○スクールゾーンの設定、速度規制【警察】 ⇒今後、現状や具体箇所の把握。指定条件等の検討

お問い合わせ先

北部市街地自治会交通対策連絡協議会事務局

川越市 都市計画部 都市交通政策課

〒350-8601 川越市元町1-3-1 電話：049-224-5519（直通） FAX：049-225-9800

第5回の連絡協議会は年度内に開催予定です。傍聴ご希望の方はお問い合わせください。